

# セ ボ ス

タガヤ  
ランティア  
ネットワーク



SETAGAYA VOLUNTEER NETWORK

世田谷発! ボランティア生活発見マガジン  
<http://www.otagaisama.or.jp/>

2019.3 No.179

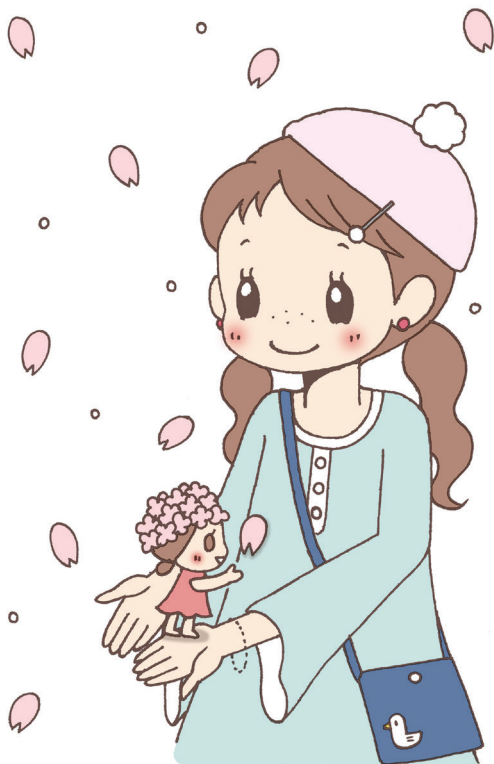
今月のトピック

特集●

## 「神戸」に学び、 首都直下地震に備える

まちの市民力! ● 自主ようちえんひろば

キラリ世田谷人 ● 矢郷 恵子さんを偲ぶ



イラストレーション●ぶり

デザイナーとして働く傍ら、イラストレーターとして活動しています。

4月には三軒茶屋のLUPOPOさんにて初の個展を開催させていただきます。

<http://lupopocafe.net/>

●わたしの世田谷

三軒茶屋のLUPOPOさんご縁があって、世田谷の街を探索したりしています。様々な街が集まっていて、行く場所行く場所で刺激をもらえる、そんな印象です。

# 「神戸」に学び、首都直下地震に備える

阪神大震災の発生から24年目に入る今年1月、区内で「神戸をわすれない」という会が開かれました。大都市神戸で起こった震災の経験に学び、地域でのまちづくりや、人の関係づくりに活かしていきたい、と始まった会です。このところ地震は頻発し、今後30年の間には首都圏直下型地震が起きる可能性は80%と言われている。神戸のまちや人びとがどのような再生を遂げ、どんな課題が残されているのか、世田谷が神戸に学ぶことはまだまだたくさんあります。



写真提供／神戸市

神戸のまちづくりを振り返る

阪神淡路大震災のちょうど1年後に、世田谷から神戸に支援に行ったさまざまなボランティアのグループが立ち上げたのが「神戸をわすれない・せたがや」。非被災地でできることとして、神戸市長田区の野田北部・鷹取地区を拠点に、まちと復興の様子を撮り始めた青池憲司監督と野田北部を記録する会による、時系列の記録（＝記憶）映画《記憶のための連作『野田北部・鷹取の人びと』全14部』の上映会を世田谷で続けられました。通算32回目となった今年1月19日の上映会では、原点となった映像に立ち戻りました。

上映会の冒頭、青池監督はこんなふうに語りました。「2020年はオリンピックの年ではなく、私にとっては神戸の大震災から25周年の年です。そこに向かう2019年の1年間、何をしようかと去年の秋から考えたのは、

野田北部の映像素材をテキストに、『まちづくりとはなんだったのか』を批評的にふりかえろう、ということでした。大きなメディアは魅力的な個人や出来事に焦点を合わせますが、私が撮ってきたのは魅力的な集団です。14巻の映像の総集編である『阪神大震災再生の日々を生きる』を先日大塚で上映し、トークショーをしました。話してもらったのは、震災当時、大学生や院生だった人たちで、



東日本大震災以降、石巻でもドキュメンタリーを撮り続けている青池監督（中央手前）  
写真／青池組 facebook より

フィールドワークで神戸に出かけ、今は大学で教授、会社では中堅どころの部長などになっていきますが、彼らが社会に出ていくきっかけとなったのが阪神大震災の復興支援でした。今、彼らが当時の映画を観て、どう語るのかは僕にはとてもスリリングでした。そんなことを25周年までの1年やっていきたい」と語りました。

### 「会議」がまちづくりの主役

上映会では『記憶のための連作』『野田北部・鷹取の人びと』第9部』を鑑賞しました。地震から1年10ヶ月経った、1996年11月から3年目に入る1997年1月までの野田北部・鷹取地区を描いた作品です。当時は区画整理、細街路の整備が課題でした。半年前に復興まちづくり祭りの実行委員会を立ち上げ、実現した「世界鷹取祭」。スペインにある子ども共同体「ベンポスタ子ども共和国」

のメンバー15人もやってきて、まちと人びとを励まします。

住民の意見を反映するワークショップでは、自分たちのまちの環境をどうつくるのかをみんなで考えています。まちの隅っこにあり、みんなが「元氣か？」と声をかけあう街角では、3メートルの道路幅をどうやって6メートルに広げるかが話されます。「神戸、がんばりや！」と地域の住民、専門家、外国籍の人、ボランティア、とみんなが参加するお祭りは復興

記憶のための連作『野田北部・鷹取の人びと』  
第9部(54分) 1996年11月～1997年1月



阪神大震災から5年の日々。人は、家族は、コミュニティはどのように再生したのか。神戸市長田区野田北部・鷹取という一地域にカメラを据えて「人とまち」の復興プロセスを撮り続けた長編ドキュメンタリー全14部。

まちづくりの象徴です。「会議」は、住まいとまちづくりのルールを住民がつくる場所。細街路の整備には関わる全員の合意が必要です。ひとつにならないと市との交渉が簡単には進みません。話し合いの積み重ねが住民、まちをつくり変えていきます。

1997年1月17日。鷹取教会のミサで神戸神父は語ります。「時が経つと、力の弱いものはなかなか復興できません。残された人たちは心細くなってしまう。最後の一人がまちに帰ってきた時が復興です」。「人の生に仮の人生はない。困難な日々はまだまだ続く。死者を悼む気持ちは歳月を経ても薄れることはない」と、3年目の春を迎えるところで第9部は終わります。

青池監督は続けます。「野田北部鷹取の人たちだけでなく、阪神の人たちは、その後の社会のあり方、真の柱を立てるような壮大な試みをしていったと気づかされま

す。見直してみると『会議』ばかりですね。僕は議論が好きで、集団の魅力を撮るひとつが会議。会議の積み重ねを時間をかけて撮っていくと、見事に人の変貌が見えてきます。議論を交わす場を撮り続けてよかったです」

「ドイツの哲学者、ハンナ・アーレントが『政治とは言葉による論議と説得である』と述べていますが、阪神の復興まちづくりはまさに論議と説得の場であったと思います」

「まちづくり、いつまでやったらいいですか？」

上映後のトークでは、映画の中で野田北部まちづくり協議会の「若手」として登場し、今や「野田北ふるさとネット」の代表を務める河合節二さん、若林町会の防災部長、高木史雄さん、そして保坂展人・世田谷区長が加わり、「神戸」「世田谷」のまちづくりを語

りました。

野田北部ふるさとネットの河合さんは「震災復興という大義名分があつて、区画整理、地区計画が進みました。あとは日常に戻るわけです。これからのまちづくりをどうやっていくか、悩みながらやっています。世田谷との付き合いは20年、区役所からも若林からもお声をかけていただきました。忘れもしないのは、一人のお母さんから『まちづくり、いつまでやったらいいのか？』と質問されたこと。目に見えることをやらなければモチベーションが上がらないですから」

その言葉を高木さんが引き取って「あの質問の時、河合さんはしばし絶句されたあと、『まあ、大地震や大火災がないと本当にみんなは動き出さないですね』と。実際になつてみないと予算はつかないということかもしれない」「いざ災害が起こった時にどうやってまとめるのか。その意味で



若林町会防災部長の高木さん

わが町会では、普段から町会の活動が住民の生活にリンクし、関係を日常的につくっていくために、お祭り、盆踊り等の町会主催のイベントを、実行委員会方式でPTA、若林クラブ、商店会などの地域の諸団体、社会福祉協議会、あんしんすこやかセンター、民生委員などが合同で会議をし、より多くの参加で意識的に大規模にしています。毎年恒例の敬老会には500人以上のお年寄りが集まってくれます。そんな中で若林小の「おやじの会」の若い人たちの新しい発想を取り入れ、子どもを飽きさせないよう度肝を抜くよう



野田北ふるさとネットの河合さん

な企画をし、それを実行すること  
で、より多くの人たちの参加によ  
る人のつながりの輪を大きくして  
いくことを試んでいます。野田北  
部の映画を参考にさせていただき  
たい」と話します。

世田谷区では東日本大震災以  
降、より一層、災害対策に取り組  
んでいます。27箇所のまちづくり  
センターで「防災塾」を実施し、  
町会や消防団を中心に、PTAや  
高校生にも参加してもらい、地域  
ごとに「地域防災計画」を作成し  
ています。保坂区長は「ぜひ、よ  
り多くの地域住民が関わってほし  
い」と語りました。

自分のいのち、自分のまちは  
自分たちで守る

続けて河合さんは「行政頼みで  
はなく、『自分のいのちは自分で守  
る』が前提です。自分が生きてい  
たら、知り合いを助けに行く。自  
分のためだけでなく、子どもやお年  
寄り、困っている人のために備蓄  
をしたらしい。3・11の前日、た  
またま墨田区で話をしていた、翌  
日なんとか東京駅まで歩いて新幹  
線に乗れました。ヘルメットやマ  
スクをつけた帰宅困難の方がた  
くさんいましたが、ああいう時には  
無理に帰ろうとしないといい。火  
災など二次災害が起きるかもわか  
らないから。それだけは東京の方  
に言いたいです」と話しました。  
高木さんは「自分たちのまちは  
自分たちで守るのは当然で、行政  
の支援が届かない時にどうしよう  
かということ。どんな災害で  
も、これだけ準備をしているから、  
耐震しているから大丈夫、という

ことは無いと思います。でも繰り返  
返し訓練をし、人のつながりの輪  
を大きくしていくことで、必ず減  
災につながるんだ、ということをし  
確認することが、特に防災に関わ  
る人には必要です。まち全体の日  
常からいえば、コミュニケーション  
は本当にわずかな力です。でも  
起こってみたら、何かをやってお  
いて良かったね、というくらい  
のことをやりたいと思っています」  
それぞれの立場から三者三様に  
語っていただき、ふだんの関係づ  
くり、そして地域でさまざまな人  
たちが話し合って合意形成をして  
いくこと、野田北部まちづくり  
の場面の映像を観ながら、改めて  
その大切さを感じた会でした。25  
年目までのこれからを、今後予想  
される首都圏での災害に備えるた  
めにも、「神戸のまち、人の復興  
はどうだったのか」について映像  
に学びながら、もう一度考えてい  
く機会したいと思います。

(取材／編集委員 星野弥生)





みんなの子どもをみんなで育てる

自主ようちえん  
ひろば

まちの

市民力!!

取材・市川 徹

●  
街の中で地域やそこで暮らす  
人たちと一緒に活動している  
団体を紹介します



「自主保育」という言葉をご存じでしょうか。自主保育とは、仲間や地域の協力者とお互いにサポートしあいながら、青空のもと、保育を行うものです。「自主ようちえんひろば（以下、ひろば）」は、昭和50年に近所のお母さんたちが設立して、それ以来40年以上続く自主保育グループです。

主に羽根木公園のプレーパークを拠点に、月曜日・金曜の毎日9時半～14時まで活動をしています。現在のメンバーは6家族7人。お母さんたち中心に当番を組んで、就学前の子どもたちを見守りながら預け合っています。月1回のミーティングで、運動会・クリスマス

マス会・芋掘り・もちつき・誕生日会などのイベントも企画しています。

メンバーのみなさんにお話をうかがうと、当初ひろばを知らなかった人が大半です。一見すると大変そうなのに、なぜ参加したのでしょうか。その理由は、「子どもたちがいきいきしている」「自分の子が楽しそうだった」「自然の中で遊ばせたい」「親も楽しそう」など。「今までは幼稚園・保育園しか知らなかったけど、外で子育てできることにカルチャーショックを受けた」と言います。ひろばに参加したことでよかったことは、「年齢で区切られず、

大きい子から小さい子まで混ざっている」「ひとりっ子でもケンカをしながら兄弟みたいに遊べる」「子どもの成長の瞬間に立ち会える」などがあります。

季節を肌で感じながら自然の中で過ごし、親以外に自分を受けとめてもらえる大人と出会うことや、プレーパークという環境の中で、たき火や木登り、工具を使った工作など、「子どものやつてみたい」に挑戦できることは幼少期に大事なことで、自分の子どもの悪いところが見えてしまうこともあります。しかしそれも、他のお母さんたちに支えてもらいながら、子どもだけでなく、親も育てられていると言います。

「子どもとの時間を大切にしたいお母さんなら、一度やってみる価値はあると思います」とのこと。いつでも体験できるそうなので、屋外での子育てに関心ある方は訪ねてみてはいかがでしょうか。



地域づくりに生活者の目線を

矢郷 恵子さんを偲ぶ  
やこう けいこ



乳幼児の外遊びの活動を地域に広げたり、女性の起業支援などにかかわり、コミュニティデザイナーとして活躍された矢郷恵子さんが2018年12月、生涯をとおられました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

矢郷さんを偲んで、NPO法人プレーパークせたがやの首藤さんに寄稿していただきました。

まだ矢郷さんがいらつしやらないことが信じられない気持ちでいます。矢郷さんは羽根木プレーパークの世話人（プレーパークを運営する地域住民）の大・

大先輩でした。1975年に自主保育（6ページ掲載のひろば）を立ち上げ、1979年に羽根木プレーパークができた後、1980年から1996年まで世話人を続けられましたね。一緒に世話人をしていたのは数年で、その間はバリバリ意見を言う矢郷さんを覚えているくらいですが、世話人を辞めた後も、プレーパークをふらりと訪れ、新しいプレーパークや若い世話人ととき火を囲みながら話をしたり、たまたまバザーをやつていたり、そこに飛び入り参加したり。新しい世話人代表が決まると、「すごいね、良く引き受けてくれたね」と喜んでくれて、いつも心強く思っていました。

さまざまな取り組みに関わっておられました。ご自身のお別れの言葉に「出会いとつながりの中で、こんなことを具体化したい、こんな場を育てたいという私のささやかな願いが実現していく、その喜びは何にもかえがたい」と書かれていましたが、矢郷さんが願う世界とは……と思いを馳せています。

矢郷さんとは3・11の大震災以降、より話をする機会が増えたように思っています。次世代のために何をするべきなのか、矢郷さんほど真剣に考えていた人はいないと思います。そういう姿に本当に励まされました。矢郷さんがいてくれたからこそ、私もプレーパークを続けることができたと思っています。矢郷さんの純粹さ、自由さ、優しさ、強さを何とか受け継いで、様々な活動を続けていきたいと思っています。どうか、これからも見守って支えてください。心よりご冥福をお祈りいたします。

（寄稿／首藤万千子）

\*沿線別にイベントやボランティア  
情報を入れていきます。  
詳細は P10 ~ 15 をご覧ください。

### ヒューマンライブラリー入門講座

3/16 (土) 13 時半 ~ 15 時半

会場: 代田ボランティアビューロー  
東京ヒューマンライブラリー協会 P 15

### ご近所カフェ みんなで歌いましょう

3/16 (土) 13 時 ~ 16 時  
代田ボランティアビューロー P14

### ●小田急線沿線

- ☆梅夢フェスタボランティア募集 詳細 P10
- ☆青少年交流センター地域サポーター募集 詳細 P11
- ☆男児の通学付き添い募集 詳細 P11
- ☆調理ボランティア募集 詳細 P12

登校 part233  
時 ~  
バス Be! P13

刺繍画展 & 「みんなのたからもの」  
田松原タペストリー展  
3/10 (日) 10 時 ~ 18 時  
世田谷美術館区民ギャラリー  
世田谷プロジェクト世田谷展実行委員会 P15

### おたがいさまフェスタ 2019

3/10 (日) 10 時半 ~ 15 時  
会場: 世田谷ボランティアセンター  
世田谷ボランティア協会 P 10

### 世田谷ボランティアセンター 開館時間変更のお知らせ

2019 年 4 月より 9 時 ~ 21 時  
世田谷ボランティア協会 詳細 P 14

### 第2回せたがや居場所サミット

3/21 (祝・木) 11 時 ~ 16 時

会場: 駒澤大学 3 号館  
せたがや居場所サミット実行委員会 P15

### 西日本豪雨災害 被災地支援 第3回ボランティアバス派遣

3/22 (金) 21 時発 ~ 3/25 (月) 6 時着  
出発・帰着地: 世田谷ボランティアセンター  
せたがや災害ボランティアセンター P14

おたがい  
さMAP



# OTAGAISA MAP

おたがいさマップ ● 情報トピック

## ● 京王線沿線

☆ 日本語を母語としない小中学生の学習サポート 詳細 P12

☆ 男子中学生と一緒に運動して下さる方募集 詳細 P12

## ● 世田谷線沿線

☆ 発達障害のお子さんにかかわるボランティア募集 詳細 P10

☆ ママレードづくりお手伝い募集 詳細 P11

☆ 世田谷区いずみ学級ボランティア募集 詳細 P12

## 「聞こえに困ったう」

3/9 (土) 13 時半～ 16 時

会場：世田谷区総合福祉センター  
世田谷区要約筆記サークル「言の葉」 P 13

## もっと語ろう不

3/9 (土) 14

人の泉・オープン

## 天野寛子フ

ししゅう高田

3/5 (火)

会場：世  
ししゅう高田

## ● 東急線沿線

☆ おたがいさまフェスタボランティア募集 詳細 P10

☆ 工作・プログラミング・将棋などを楽しんでくれる方 詳細 P11

☆ ボランティア協会をささえる会事務局臨時職員募集 詳細 P13

京王線沿線

小田急線沿線

世田谷線沿線

東急線沿線

この地図には沿線ごとのトピックをいれています。

他にも世田谷にはたくさんの素敵な出会いがいっぱいです。後にく情報マップにお  
としたり、今月のあなたの『おたがいさま』を書き入れてみてはいかがですか。

★や◎で入れるのもよし、活動の記録・行動(アクション)の目安に是非ご活用ください。

京王線沿線  
小田急線沿線

世田谷線沿線  
東急線沿線

## ボランティア求む

### 東世 おたがいさまフェスタ ボランティア募集

『おたがいさまフェスタ』は、三軒茶屋を中心に活動するボランティア活動団体やNPO、福祉施設など様々な人たちが集うお祭りです。地域の活動を多くの人に知ってもらいたい。そう願いをこめて、バーム下馬にある『世田谷ボランティアセンター』『ケアセンター』『ふらっと』『下馬福祉工房』が協働で開催します。

●日時・内容／①前日準備 3月9日(土) 10時～12時会場設営

### 世 発達障害のお子さんにかかわるボランティア募集

軽度発達障害を持つお子さん(小学1年生～高校3年生)に対して、調理や工作、プリントを用いた活動を提供するイベントを、毎月1回開催しています。私たちと一緒に、子どもたちの長所を伸ばしながら、課題に真剣に向き合ってくださいませ！

●日時／毎月第3日曜日 10時～17時  
●場所／弦巻区民センター(世田

13時～17時掲示物等の準備  
②当日運営 3月10日(日) 9時～17時半の間でご相談

スタンパラー、バザー、模擬店などのお手伝い

●場所／世田谷ボランティアセンター館内ほか

●交通／三軒茶屋駅徒歩12分  
●問合せ／世田谷ボランティア協会 担当 宮崎

TEL 5712・5101  
mizak@otagaisama.or.jp

谷区弦巻1-26-11

●交通／世田谷駅・桜新町駅  
●条件／発達障害のお子さんに関わったことがある方、発達障害の理解を深めたい方、子供が大好きな方(未経験大歓迎)

●問合せ／療育支援団体 Color Friends(カラフ) 担当 島村  
060・6137・5864  
1010colorful101@gmail.com

### 小 梅夢フェスタ ボランティア募集

梅丘商店街にて行われるフリーマーケット「梅夢フェスタ」に、今年も出店します。当日お手伝いして頂ける方を募集しております。皆さんのご応募をお待ちしております！

●日時／3月10日(日) 9時半～16時半の間でご相談

●ボランティア活動内容・時間／①手作りグループの作品、リサイクル品の販売および片付け

### 修学旅行に同行して下さる方募集

筑波大学付属桐が丘特別支援学校・高等部に通う男の子の修学旅行に同行し、移動の補助や荷物を運ぶなどの手伝いをしてくださる方を探しています。大阪に行き、水族館見学や観光をします。

電動車いすを利用しています。視力が弱く、段差や障害物に気づかずにつつかってしまうことがあります。ぶつかりそうなときに声をかけてくれることを一番必要としています。日常生活のサポートは必要ありません。穏やかでしっかりした男子で、必要なことは伝えられるので、それに従ってサポートしてくれる方を望んでいます。

(可能な時間帯でOKです)

②ボランティアアビュローから商店街まで販売物と机・イスなどの運搬、設置、および撤収作業(9時15分～10時/15時15分～16時)どちらかでも助かります

●交通／梅ヶ丘駅徒歩5分  
●問合せ／梅丘ボランティアアビュロー

TEL 3420・2520  
umebora@otagaisama.or.jp

す。一大イベントなのでよい思い出にできたらと思っています。詳しくはお問い合わせください。

●日時／4月16日(火)19日(金)16日9時集合、19日17時頃解散(集合・解散はいずれも東京駅)

●場所／大阪方面  
●条件／男性。交通費・宿泊費(個室)・飲食費は依頼者負担。

ボランティア保険加入と、学校での説明会への参加必要。

●問合せ／世田谷ボランティア協会 担当 鈴木

TEL 5712・5101  
suzuk@otagaisama.or.jp

## 希望丘青少年交流センター 地域サポーター募集

希望丘青少年交流センター『アップス』が2月1日にオープンしました！ スタジオ、ホール、調理室、カフェスペースなどがあり中高生から若者の「やりたい」を実現する場所となっております。地域にお住まいの方、子ども、若者支援に携わってみたい学生の方、地域サポーター（ボランティア）として一緒に活動して頂ける方を募集しています。

ご自身の得意なこと（バンド活動、野菜作り、学習支援、スポーツ、手芸など）を生かした活動やイベント運営サポートなど、さまざまな形で若者の活動を応援して

## 東工作、プログラミング、将棋などを楽しくくれる方募集

玉川地域に住む小学校中学年の男の子が、一緒に工作またはパソコンでのプログラミング、将棋などを一緒に楽しんでもくれる方を探しています。

男の子は、理科が好きで、優しく穏やかな性格です。自宅や児童館などで2時間程度、一緒に遊んでください。

いただきたいと思っています。

●日時／開館時間（9時～22時）

の間で都合のよい時間帯

●場所／世田谷区立希望丘青少年交流センター「アップス」

（世田谷区船橋6-25-11-3階）

●交通／千歳船橋駅・八幡山駅からバス「朝日新聞社前」下車1分

●条件／青少年交流センターの趣旨に賛同し、子ども・若者支援に興味のある18歳以上の方

●問合せ／世田谷区立希望丘青少年交流センター 担当 林

TEL 6304・6915

info@ups-s.com

http://ups-s.com/

●日時／月／金曜日。月2回から。時間は応相談。

●交通／三子玉川駅

●条件／交通費支給。年齢・性別不問。子どもが好きな方

●問合せ／玉川ボランティアビュー

ーロー

TEL 3707・3528

tamaborara@otagaisama.or.jp

## 世 ママレードづくり

コミュニティ・ネットワーク・ウェーブは、「誰もが安心して住み続けられる地域づくり」をめざして活動しています。

ウェーブでは、区内のあちこちから夏みかんをご寄付いただき、毎年この時期にママレードをつくり、活動資金の一部にさせていただきます。

今年も作業を行いますので、お手伝いをしてくださる方を募集します。短時間でもけっこうですので、おひとりでも多くの方がお手

●日時／3月8日（金）15時～21時（木）、30日（土）10時～15時頃

●場所／弦巻区民センター調理室

●申込み・問合せ／NPO法人

コミュニティ・ネットワーク・

ウェーブ 担当 一宮

070・5457・7781

## 小 4月から小学校に通う男児の通学付添い募集

朝、両親の出動に合わせて7時に自宅に迎えに行き、7時半頃に、自宅を出て小学校の特別支援学級まで一緒に登校してくれる方を探しています。

男の子は、コミュニケーションはとることができ、おとなしく人懐っこい性格です。週2回程度でもかまいません。現在男の子は、祖師谷の保育園に通っています。月2回程度、保育園まで一緒に登園していただくことから始めたいと考えています。よろしくお願

●日時／月／金曜日の間で週2回程度（応相談 7時～8時15分（90分程度）

●場所／千歳船橋駅近辺の自宅、小学校まで（祖師谷近辺の小学校の予定）

●条件／交通費支給（上限あり）

●問合せ／梅丘ボランティアビュー

ーロー 担当 赤松

TEL 3420・2520

umebora@otagaisama.or.jp

## お手伝い募集

伝いくださると助かります。よろしくお願します。なお、お手伝いくださった方にはママレードを1個お持ち帰りいただきます。

●日時／3月8日（金）15時～21時（木）、30日（土）10時～15時頃

●場所／弦巻区民センター調理室

●申込み・問合せ／NPO法人

コミュニティ・ネットワーク・

ウェーブ 担当 一宮

070・5457・7781

京 京王線沿線  
小田急線沿線

世田谷線沿線  
東急線沿線

## 京 日本語を母語としない小中学生の学習サポート

日本語サークルわかばは、京王線千歳烏山地域で活動する日本語教室です。地域に暮らす外国人の日本語習得のお手伝いをすることにも、外国人、日本人住民どうしの交流を楽しんでいます。このたび、日本語を母語としない小学生・中学生の学習をサポートしてくださる方を求めています。お子さんの学習支援に興味のある方、教員経験のある方のご応募をお待ちしております。

### 京 男子中学生と一緒に運動してくれる男性求む

千歳烏山近辺に住むハンディキャップのある男子生徒が、一緒に体力つくりをして、そのあと銭湯に連れて行ってくれる方を探しています。

自宅から公園に行き、走る練習や鉄棒、ボール投げなど、1時間くらい運動をするのをサポートしてください。銭湯の入り方を覚えていただき、運動のあとに近くの銭湯に行き、一緒に汗を流してください。男子生徒は、明るく、一生懸命な性格です。子どもが好きで明るく元気な男性、お待ちしています。

- 日時／毎週木曜19時～20時半（その他毎月1回30分程度のミーティングあり）
- 場所／烏山地区センター会議室
- 交通／千歳烏山駅徒歩1分
- 募集人数／2名
- 条件／外国人および年少者の日本語習得支援にご理解、ご興味のある方
- 問合せ／日本語サークル「わかば」担当 小林 wakabainhongo@gmail.com

- 日時／木曜日以外の平日放課後、16時～18時の2時間程度。または週末の都合の良い時間帯。週1回程度。
- 場所／千歳烏山近辺または祖師ヶ谷大蔵・千歳船橋近辺
- 条件／男性。交通費・入浴料は支給（交通費は上限あり）
- 問合せ／梅丘ボランティアビューイング TEL 3420・2520 umebor@otagaisama.or.jp

## 小 調理ボランティア募集

通所型高齢者施設の昼食と、夕食のお弁当と一緒に作ってくださる方を募集しております。調理、配膳、洗い物などの、厨房作業です。料理が好きな方、覚えたい方、学生さん、男性の方、主婦の方も募集しております。月1回でも構いません。ご興味ある方、一度ご連絡ください。

## 世 知的障がいのある人と一緒に活動しよう いずみ学級ボランティア募集

「いずみ学級」は、知的障がいのある人たちと、彼らを支え、共に学び、遊ぶボランティアによって運営される学級です。1年を通してレクリエーションやクラブ活動、バスハイク、キャンプ、スキーなどの活動をしています。（詳しくは世田谷区ホームページより年間活動計画を参照ください）ボランティアは、学生や社会人、主婦など、老若男女問わずさまざまな人たちが参加して活動しています。資格等は不要で、知的障がいのある人たちと関わることに興味のある方なら、誰でも参加できます。ボランティア募集は年間を

- 日時／月～土曜日（祝日はお休みです）9時～14時半
- 場所／デイホーム桜丘
- 交通／千歳船橋駅
- 条件／立ち仕事に苦痛を感じない方
- 問合せ／デイホーム桜丘 担当 木村 TEL 5451・5502

- 日時／原則として第1・第3日曜日の10時～15時半（年22回）
- 場所／活動拠点は世田谷中学校、八幡中学校、芦花中学校。他に外出や宿泊行事もあります
- 条件／高校生以上
- 問合せ／世田谷区教育委員会事務局 生涯学習・地域学校連携課 いずみ学級担当 TEL 5432・2733



## 有償スタッフ募集

### 東 ボランティア拠点の臨時職員募集

世田谷ボランティア協会が運営する、地域のボランティア拠点で、有給スタッフを募集しています。

「世田谷ボランティア協会をささえる会」の事務局スタッフとして一緒に働きませんか。

●内容／ボランティア活動の推進および「ささえる会」にかかわる諸事業の実施、会員管理、一般事務

●勤務地／世田谷ボランティアセンター（下馬2・20・14）

●交通／三軒茶屋駅徒歩12分

●勤務日／火曜・土曜日のうち、週3日程度（ただし隔月で夜間の会議あり。年2〜3回、行事のときは日曜出勤あり）

●勤務時間／9時45分〜17時（休憩45分）

●条件／20歳以上で人とかかわることが好きな方、地域のために

何か始めてみたい方、基本的なPCスキルのある方（ワード、エクセル等）

●雇用期間／3月以降〜2019年3月末日（勤務開始日応相談。年度ごとの契約、更新あり）

●待遇／時給1010円（交通実費支給、雇用保険あり）

●応募方法／履歴書（写真貼付）、作文「応募の動機」（4000字程度）を郵送または持参

●選考方法／1次選考：書類、2次選考：面接

●応募締切／適任者が見つかり次第締切

●問合せ／世田谷ボランティア協会  
TEL 57122・5101

（月曜・祝日休館）

## 講座・その他・募集

### 小 学習会「きこえに困ったら」

最近ご自身の、あるいはご家族の「きこえに困っている」ということはありませんか。

今回の講座では、きこえに困った経験者2名の方からの難聴の体験談をお伺いし、きこえない・きこえにくいときの少しの工夫やコミュニケーションについて考えます。また筆談の体験（自分で書いて伝える方法、筆談ボードも作製します）と、コミュニケーション支援方法のひとつである要約筆記（音声）を文字で伝える通訳）のミニ

ニレクチャーも行います。

●日時／3月9日（土）13時半〜16時（要申込）

●場所／世田谷区総合福祉センター「さくらば」と3階研修室

●交通／梅ヶ丘駅、山下駅

●募集人数／50名

●参加費／300円（実習材料費込）

●問合せ／世田谷区要約筆記サークル「言の葉」  
TEL 3427・1729

kotonoha1996@gmail.com

### 小世 「もつと語ろう不登校 part23c3」

不登校の当事者と保護者だけでなく、社会への不適応感を抱く若者や大人まで、想いを自由に語り合い、それぞれの経験に参加者の皆さんが自分を重ね合わせるなど、多くの出会い方で自分を見つめ直す機会となっています。不登校を広い意味のメッセージと捉え、あらゆる問題を語り合える場です。途中参加、途中退席も自由

です。気楽にご参加ください！

●日時／3月9日（土）14時〜

●場所／人の泉・オープンスペースBe!（赤堤1・15・13）

●参加費／300円（カンパ歓迎）

●交通／山下駅徒歩6分

●問合せ／世田谷こどもいのちのネットワーク第3分科会「もつと語ろう不登校」担当 佐藤  
TEL 53000・5581

京王線沿線  
小田急線沿線世田谷線沿線  
東急線沿線

## 講座・その他・募集

小

代田ビュロー「こ近所カフエ」  
みんなで歌いましょう!

毎月第3土曜日の午後は「こ近所カフエ」。お茶とお菓子、月替わりのお楽しみ企画をご用意してお待ちしています。3月は、「みんなで歌いましょう」童謡・唱歌からポップスまで♪ 大きな声を出しただけでもスツキリ楽しいもの。歌の企画はこれまで3回開催し、毎回大変好評です。楽器持ち込みで伴奏をしてくださる方も大歓迎! ご近所に顔見知りが増えるきっかけに!

- 日時/3月16日(土) 13時~16時。申込不要、時間内出入り自由(毎月第3土曜日開催)
- 場所/代田ボランティアビュロー1階
- 交通/世田谷代田駅徒歩1分
- 参加費/100円(お茶菓子代)
- 問合せ/代田ボランティアビュロー
- TEL 3419・4545  
daiabora@otagaisan.or.jp

東

世田谷ボランティアセンター  
開館時間変更のお知らせ

2019年4月よりボランティアセンターの開館時間を以下の通り変更させていただきます。

- 開館時間/
- 火曜・金曜 9時~21時
- 土曜・日曜 9時~19時(会議室の利用があれば21時まで開館)
- 会議室利用時間/
- 火曜・金曜 9時30分~21時
- 土曜・日曜 9時30分~19時(た

- だし、土日の19時以降の利用は前日17時までの予約が必要)
- ※ボランティア相談はできるだけ事前連絡の上お越しください。
- ※ボランティアビュローの開館時間に変更はありません(10時~17時)
- 問合せ/世田谷ボランティア協会(月曜・祝日休館)
- TEL 5712・5101

西日本豪雨災害被災地支援  
第3回ボランティアバス参加者募集

昨年7月の西日本豪雨により被災した岡山県倉敷市に、第3回となるボランティアバスを派遣します。参加者募集中です。

- 日時/行程/3月22日(金) 21時頃世田谷出発(車中泊) ~ 23日(土) 早朝現地到着・活動(現地泊) ~ 24日(日) 活動・夜出発(車中泊) ~ 25日(月) 朝6時頃世田谷到着予定
- 移動方法/貸し切りバス
- 定員/40名(先着順)
- 活動内容/ガレキの撤去、室内の清掃などを予定

- 参加費/5000円(バス代) ※食事代、入浴代、ボランティア保険は各自でご負担ください。
- 参加条件/①原則として、健康な18歳以上の方(18才未満の方は保護者の同意書が必要です)
- ②3月16日(土) 19時~の説明会に参加できる方(難しい場合はご相談ください)
- 申込み/電話またはメールで
- 問合せ/せたがや災害ボランティアセンター
- TEL 5712・5101  
saiga@otagaisan.or.jp

東

NPO・市民活動相談「活用ください」

ボランティアグループ・任意団体の立ち上げや運営に関する相談のほか、NPO法人の設立も含めたNPO・市民活動に関する基礎的な個別相談に応じています。グループの運営に悩んでいる、助成金情報を知りたい、NPOって何? など、いろいろなお相談を受けています。すでに活動してい

- 問合せ/世田谷ボランティアセンター 担当 宮崎
- TEL 5712・5101
- (月曜・祝日休館)

## 京

### 福祉な暮らしデイ@ななつのこ

福祉の語源「Welfare」には、

「幸せ」や「豊かさ」という意味があります。介護などのケアが必要になった時、福祉のことを少しでも知っていると、不安な気持ちも軽くなります。車椅子に乗ったり、シニアの住まいについて情報収集したり、お悩み相談をしたり。福祉作業所の美味しいスイーツをいただきながら、これからの「Welfare」な暮らしを想像してみませんか？（参加無料）

●日時／3月10日（日）11時～16時  
●場所／コミュニティカフェなつ

のこ（南島山6・12・12コーシャ

ハイム千歳島山12号棟1階）

●交通／千歳島山駅徒歩5分

●内容／お片づけ&アロマケア体験、施設紹介と福祉用品の展示、ハンディキャップ体験、各種相談コーナー、ワークシヨップ、ミニ仏壇展示、ミニバザー、福祉作業所のスイーツ販売など。

●問合せ／福祉な暮らしデイ実行委員会

TEL 5969・8457

donatokoagari@gmail.com

## 東

### 天野寛子フリー刺繍画展&

### 「みんなのたからもの」ししゅう高田松原タペストリー展

「東日本大震災を忘れない」3.

11から8年、世田谷から考える」

と題して、この間の震災に関する

報道写真・記事をフリー刺繍画に

した天野寛子さんの作品と、熱い

想いの込められた741枚の「松

の作品をつなぎ、松原にした「し

しゅう高田松原」を展示します。

●日時／3月5日（火）～10日（日）  
10時～18時（※初日は13時～、

最終日は16時まで）入場無料

●場所／世田谷美術館区民ギャラリー

\*3月9日（土）午後トークサロ

ンとチャリティコンサート開催。

詳しくはお問合せください。

●問合せ／「みんなのたからもの」

ししゅう高田松原プロジェクト

世田谷展実行委員会

080・4137・0808

## 小

### ヒューマンライブラリー入門講座

ヒューマンライブラリー（HL）

は、障がい者、LGBT、難病、

依存症、難民など偏見や誤解を受

けやすい人が「本」になり、少人

数の一般読者に人生話を自己開示

するイベントです。相互理解を深

め偏見を低減するイベントとして

世界中で実践されています。

詳しく知りたい方、開催してみ

たい方、本をしてみたい方などを

対象に入門講座を開催します。H

Lとは何か、仕組み、疑似体験、

開催事例、HLの効果、開催情報

## 東

### 第2回せたがや居場所サミット

数はたくさんあるのに、これま

でつながりが少なかった世田谷区

にある「子ども、若者、障害者、

高齢者、さらには「外国人」「貧

困者」「中年の無職者」…、さま

ざまな「居場所」をネットワーク

し「ケアする社会」を実現してい

こうと、今年2月に1回目の「居

場所サミット」を開催し、48団体

が集まりました。前回のサミット

をきっかけに、新しい「居場所」

がいくつも増えています。自分で

「居場所」をつくりたいと思って

などを紹介します。

●日時／3月16日（土）13時半～

15時半（事前予約制）

●場所／代田ポランティアビュー

ロー会議室

●交通／世田谷代田駅徒歩1分

●参加費／500円

●申込み／氏名・所属・住所を明

記してメールで申込みください。

●問合せ／東京ヒューマンライブ

ラリー協会 担当 坪井

090・4751・6942

tsubo@12@gmail.com

いる方、「居場所」に興味をもっ

ている方、お待ちしています。

●日時／3月21日（祝・木）11時

～16時

●場所／駒澤大学 3号館4階

種月ホール

●交通／駒澤大学駅徒歩10分

●参加費／無料

●問合せ／せたがや居場所サミッ

ト実行委員会 担当 中澤

TEL 5477・9891

maycat2jp@ybn.jp

## 世田谷ボランティア協会の活動・支援拠点

### ●「市民が主役」のボランティア活動の拠点●

- 世田谷ボランティアセンター 〒154-0002 下馬2-20-14 TEL (5712)5101 FAX (3410)3811
- 梅丘ボランティアビューロー 〒154-0022 梅丘1-8-9 TEL (3420)2520 FAX (3706)2854
- 代田ボランティアビューロー 〒155-0033 代田2-20-6 TEL (3419)4545 FAX (3412)3210
- 玉川ボランティアビューロー 〒158-0094 玉川2-1-15 TEL (3707)3528 FAX (3708)3058

### ●いのちを大切にすると「ふらっと」&「with」です●

- ケアセンター「ふらっと」 〒154-0002 下馬2-20-14 TEL (5712)5105 FAX (3410)3813
- ケアセンター「with」 〒154-0002 下馬3-22-13 TEL (6805)4715 FAX (6805)4718

### ●くらしを紡ぎ、わかちあう「結」と「連」●

- ケア相談センター結(ゆい) 〒154-0002 下馬3-22-13 TEL (5433)2830 FAX (6383)2156
- ケアステーション連(れん) 〒154-0002 下馬3-22-13 TEL (6805)4716 FAX (6805)4718

### ●障がいにとまなう「困った!」を話せるところ●

- 世田谷地域障害者相談支援センター 〒154-0002 下馬3-22-13 TEL (6804)0405

### ●でんわだから、はなせるネ! 18さいまでのこどもせんようでんわ●

- せたがやチャイルドライン こどもせんようでんわ TEL (3412)4747 0120-99-7777(フリーダイヤル)  
\*事務局は世田谷ボランティアセンターにあります

## 拠点は今… 今月のおススメ!

### ◆センター&ビューローより

3/10(日)「おたがいさまフェスタ」、下馬福祉工房さんとケアセンターふらっとと合同のにぎやかなお祭りです。子ども服詰め放題バザー、クッキー教室、ライブ、スタンプラリーなどお楽しみください。

### ◆ふらっと&withより

ふらっとにきている車いすユーザーの方が冬の防寒対策として活用しているのが「レッグウォーマー」です。最近は男性用に大きめのサイズや目立ちにくい色の品物も増えています。オシャレは足元からですね〜。

### ◆結・連より

介助を必要としている人がいます! 世田谷を走り回っています。ヘルパー募集継続中です!

### ◆チャイルドラインより

4/20(土) 午後10、10代20代の女の子の支援を続けている橘ジュンさんをむかえて講演会を開催します。子ども若者の問題に関心のある方、ぜひご参加ください!

## 編集後記

■今月のキラリ人、矢郷さんは評議員として長年世田谷ボランティア協会を支えてくださいました。時に厳しくもあたたかく職員を励ましてくださったことを覚えています。心よりご冥福をお祈りいたします。

■半年前から気になっていたお店を訪ねて、今月の表紙のイラストレーターさんをご紹介します。出会いに感謝です。

■2月の梅まつりは雪がちらつくなかの出店。紅梅と白梅のコントラストが素敵でした。(み)

- 発行  
社会福祉法人  
世田谷ボランティア協会  
〒154-0002  
世田谷区下馬2-20-14  
TEL 03-5712-5101  
FAX 03-3410-3811
- E-MAIL  
setabora@otagaisama.or.jp
- ホームページ  
<http://www.otagaisama.or.jp/>
- 発行人  
横山 康博

